

牧之原市原子力防災訓練について

1 目的

福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、浜岡原子力発電所の原子力災害を想定した避難等の訓練を実施し、市民に避難行動の基本を理解してもらうとともに、今後の避難計画の作成に資することを目的とする。

2 訓練概要

- ・日 時 平成 28 年 2 月 27 日（土）午前 9 時 00 分から正午まで
- ・場 所 相良総合センターいーら 駐車場（牧之原市須々木 140）
- ・想 定 浜岡原子力発電所の原子炉注水機能の喪失等により、P A Z 内住民に対する避難指示があったと想定して訓練を実施する。（発電所単独災害）
- ・参加者 モデル避難住民（波津区） 約 20 名
訓練視察者 住民 60 名（各区）
牧之原市市議会議員
市長、副市長、教育長、理事、部長、防災担当職員他

3 訓練内容（予定）

- （1）避難指示発令時における避難行動の確認
モデル避難住民（波津区 1 つの組）が組集合場所に集合し、自家用車もしくはバスに乗り合い、車両による避難を開始する。
- （2）避難者数の掌握
会場内に区（Aポイント）、地区（Bポイント）、市（Cポイント）の掌握ポイントを設け、避難者数を掌握する。
- （3）市証明書の配布
市発行証明書（市掌握地点通過時間の証明書）を配布する。
- （4）安定ヨウ素剤の持参確認
避難時に安定ヨウ素剤（模擬）を持参する。
- （5）避難行動訓練の視察
各区の代表者が各ポイントにおける訓練を視察し、避難行動の基本の理解と所見をいただく。